

(12)特許協力条約に基づいて公開された国際出願

(19) 世界知的所有権機関
国際事務局



(43) 国際公開日
2001年2月1日 (01.02.2001)

PCT

(10) 国際公開番号
WO 01/08358 A1

(51) 国際特許分類: H04L 12/56

(21) 国際出願番号: PCT/JP99/04002

(22) 国際出願日: 1999年7月26日 (26.07.1999)

(25) 国際出願の言語: 日本語

(26) 国際公開の言語: 日本語

(71) 出願人(米国を除く全ての指定国について): 富士通株式会社 (FUJITSU LIMITED) [JP/JP]; 〒211-8588 神奈川県川崎市中原区上小田中4丁目1番1号 Kanagawa (JP).

(72) 発明者; および

(75) 発明者/出願人(米国についてのみ): 外処 學 (TODOKORO, Gaku) [JP/JP]; 〒211-8588 神奈川県川崎市中原区上小田中4丁目1番1号 Kanagawa (JP).

(74) 代理人: 服部毅巣(HATTORI, Kiyoshi); 〒192-0082 東京都八王子市東町9番8号 八王子東邦生命ビル 服部特許事務所 Tokyo (JP).

(81) 指定国(国内): JP, US.

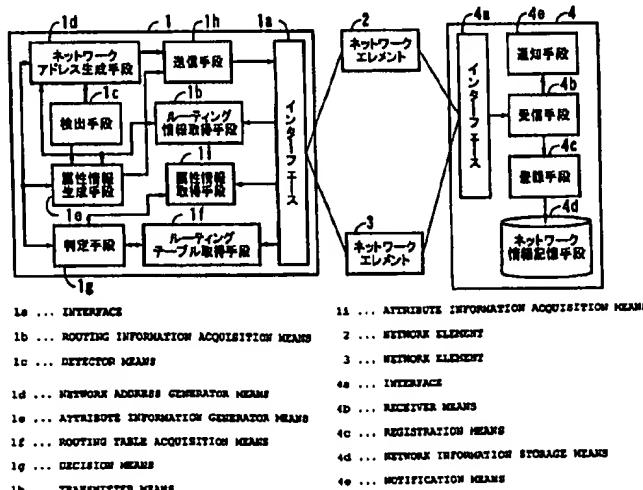
(84) 指定国(広域): ヨーロッパ特許(AT, BE, CH, CY, DE, DK, ES, FI, FR, GB, GR, IE, IT, LU, MC, NL, PT, SE).

添付公開書類:
— 国際調査報告書

2文字コード及び他の略語については、定期発行される各PCTガゼットの巻頭に掲載されている「コードと略語のガイダンスノート」を参照。

(54) Title: NETWORK SYSTEM

(54) 発明の名称: ネットワークシステム



WO 01/08358 A1

(57) Abstract: A network address is automatically given to a new network element connected with a network. When detection means (1c) detects a new connection to the network, routing information acquisition means (1b) acquires routing information, and network address generating means (1d) and attribute information generating means (1e) refer to this information to generate a network address and attribute information, respectively. To check that the newly provided network address and attribute information are unique, decision means (1g) refers to the routing table acquired through routing table acquisition means (1f) and attribute information acquired through attribute information acquisition means (1i). If they are unique, transmission means (1h) transmits the information to a monitor (4), registration means (4c) registers it in network information storage means (4d), and notification means (4e) notifies the manager.

[統葉有]

BEST AVAILABLE COPY



(57) 要約:

ネットワークに新規に接続されたネットワークエレメントに対してネットワークアドレスを自動的に付与する。検出手段（1 c）が、ネットワークに新たに接続されたことを検出すると、ルーティング情報取得手段（1 b）がルーティング情報を取得し、これを参照してネットワークアドレス生成手段（1 d）と属性情報生成手段（1 e）がネットワークアドレスと属性情報をそれぞれ生成する。判定手段（1 g）は、ルーティングテーブル取得手段（1 f）によって取得されたルーティングテーブルと、属性情報取得手段（1 i）によって取得された属性情報を参照して、新たに生成したネットワークアドレスと属性情報が重複していないか判定する。重複していない場合には送信手段（1 h）によって監視装置（4）にこれらの情報が送信され、登録手段（4 c）によってネットワーク情報記憶手段（4 d）に登録され、また、通知手段（4 e）によって管理者に通知される。

明細書

ネットワークシステム

5 技術分野

本発明はネットワークシステムに関し、特に、複数のネットワークエレメントと、ネットワークを監視する監視装置とを有するネットワークシステムに関する。

10 背景技術

複数のネットワークエレメント（以下、適宜「エレメント」と称す）と、これらのエレメントを監視する監視装置とが接続されて構成されるネットワークシステムに対して、新たなエレメントを追加する場合には、従来は、以下のような手続きを行う必要があった。

15 即ち、先ず、このエレメントをネットワーク上において特定するためのネットワークアドレス（以下、適宜「アドレス」と称す）と、各エレメントを識別するための属性情報であるIDとをこのエレメントに接続された端末装置から入力して登録する。

次に、登録したアドレスとIDとを、監視装置を管理している管理者20に対して電話等によって通知する。管理者は、通知されたアドレスとIDと監視装置に対して記憶させることによって登録を終了する。

ところで、このような方法では、既に登録されているアドレスやIDとの重複を避けるために、新たなエレメントを接続する場合には、これらの情報を一元的に管理している管理者に対して問い合わせをしなければならず煩雑であるという問題点があった。

また、新たに接続しようとするエレメントが遠隔地にある場合には、

アドレスや ID 等を設定するために、その地まで赴かなければならず、ネットワークの立ち上げに時間を要するという問題点もあった。

発明の開示

5 本発明はこのような点に鑑みてなされたものであり、追加しようとす
るエレメントの設置場所まで赴くことなく、また、管理者に問い合わせ
をすることなく、エレメントを追加することが可能なネットワークシス
テムを提供することを目的とする。

本発明では上記課題を解決するために、図 1 に示す、複数のネットワ
10 クエレメント 1 ~ 3 と、ネットワークを監視する監視装置 4 とを有す
るネットワークシステムにおいて、前記ネットワークエレメント 1 は、
自己が前記ネットワークに新たに接続されたことを検出する検出手段 1
c と、前記検出手段 1 c によって自己が新たにネットワークに接続され
たことが検出された場合には、自己のネットワークアドレスを生成する
15 ネットワークアドレス生成手段 1 d と、前記ネットワークアドレス生成
手段 1 d によって生成されたネットワークアドレスがネットワーク上に
おいて重複しているか否かを判定する判定手段 1 g と、を有することを
特徴とするネットワークシステムが提供される。

ここで、検出手段 1 c は、自己がネットワークに新たに接続されたこ
20 とを検出する。ネットワークアドレス生成手段 1 d は、検出手段 1 c に
よって自己が新たにネットワークに接続されたことが検出された場合に
は、自己のネットワークアドレスを生成する。判定手段 1 g は、ネット
ワークアドレス生成手段 1 d によって生成されたネットワークアドレス
がネットワーク上において重複しているか否かを判定する。

25 本発明の上記および他の目的、特徴および利点は本発明の例として好
ましい実施の形態を表す添付の図面と関連した以下の説明により明らか

になるであろう。

図面の簡単な説明

図 1 は本発明の動作原理を説明する原理構成図である。

5 図 2 は本発明のネットワークシステムの全体構成の一例を示す図である。

図 3 は図 2 に示すネットワークエレメントの詳細な構成例を示す図である。

図 4 は図 3 に示すHDDに記憶されている内容の一例を示す図である。

10 図 5 は図 2 に示す監視装置の詳細な構成例を示す図である。

図 6 は図 5 に示すHDDに記憶されている内容の一例を示す図である。

図 7 は図 3 に示すネットワークエレメントにおいて実行される処理の一例を説明するフローチャートである。

15 図 8 は図 2 に示す各ネットワークエレメントに付与されたネットワークアドレスとIDの一例を示す図である。

図 9 は図 5 に示す監視装置において実行される処理の一例を説明するフローチャートである。

図 10 は図 9 に示す処理によって図 5 に示す監視装置が有する表示装置に表示される画面の表示例である。

20

発明を実施するための最良の形態

以下、本発明の実施の形態を図面を参照して説明する。

図 1 は、本発明の動作原理を説明する原理構成図である。この図に示すように、本発明に係るネットワークシステムは、ネットワークエレメント 1～3、および、監視装置 4 によって構成されている。なお、ネットワークエレメント 1～3 は、同様の構成とされているので、この図で

は、ネットワークエレメント 1 についてのみその内部構成を示している。

ネットワークエレメント 1 は、インターフェース 1 a、ルーティング情報取得手段 1 b、検出手段 1 c、ネットワークアドレス生成手段 1 d、属性情報生成手段 1 e、ルーティングテーブル取得手段 1 f、判定手段 5 1 g、および、属性情報取得手段 1 i によって構成されており、図示せぬネットワーク（例えば、光ケーブル等によって構成されたネットワーク）の監視や設定を行うとともに、他のネットワークエレメント 2、3 や監視装置 4との間で通信を行う。

ここで、インターフェース 1 a は、他のネットワークエレメントや監 10 視装置 4との間でデータを授受する場合に、データの表現形式を変換する。

ルーティング情報取得手段 1 b は、ネットワークエレメントの接続関係を示す情報や、情報の伝送経路を示す情報等からなるルーティング情報をネットワーク上から取得する。

15 検出手段 1 c は、自己がネットワークに新たに接続されたことを検出する。

ネットワークアドレス生成手段 1 d は、検出手段 1 c によって自己が新たにネットワークに接続されたことが検出された場合には、自己のネットワークアドレスを生成する。

20 属性情報生成手段 1 e は、検出手段 1 c によって自己が新たにネットワークに接続されたことが検出された場合には、自己の属性情報を生成する。

ルーティングテーブル取得手段 1 f は、隣接するネットワークエレメントが有するルーティングテーブルを取得する。

25 判定手段 1 g は、ルーティングテーブルを参照し、ネットワークアドレス生成手段 1 d および属性情報生成手段 1 e によって生成されたネット

トワークアドレスおよび属性情報が重複しているか否かを判定する。

送信手段 1 h は、ネットワークアドレス生成手段 1 d と属性情報生成手段 1 e によって生成されたネットワークアドレスと属性情報をインターフェース 1 a を介して監視装置 4 に送信する。

5 属性情報取得手段 1 i は、属性情報生成手段 1 e によって新たな属性情報が生成された場合には、他のネットワークエレメントの属性情報を取得し、判定手段 1 g に供給する。

監視装置 4 は、インターフェース 4 a、受信手段 4 b、登録手段 4 c、ネットワーク情報記憶手段 4 d、および、通知手段 4 e によって構成されており、ネットワークエレメントを管理する。

ここで、インターフェース 4 a は、ネットワークエレメント 1～3 との間でデータを授受する場合に、データの表現形式を変換する。

受信手段 4 b は、ネットワークエレメント 1～3 から送信された新たなネットワークアドレスおよび属性情報を受信する。

15 登録手段 4 c は、受信手段 4 b によって受信されたネットワークアドレスおよび属性情報を、ネットワーク情報記憶手段 4 d に登録する。

ネットワーク情報記憶手段 4 d は、ネットワークに関する情報であるネットワークアドレスと属性情報を記憶する。

20 通知手段 4 e は、ネットワーク情報記憶手段 4 d に対して新たなネットワークアドレスおよび属性情報の登録があった場合には、その旨をオペレータに対して通知する。

次に、以上の原理構成図の動作について説明する。

以下では、図 1 に示すネットワークエレメント 1 が新たに接続された場合を想定して説明を行う。

25 いま、ネットワークエレメント 1 が新たに接続されて起動されたとすると、先ず、検出手段 1 c が初めての起動であることを検出し、ネット

ワークアドレス生成手段 1 d および属性情報生成手段 1 e に通知する。

通知を受けたネットワークアドレス生成手段 1 d は、ルーティング情報取得手段 1 b に対してルーティング情報を取得するように指示する。

5 ルーティング情報取得手段 1 b は、ネットワーク上を循環しているルーティング情報を取得し、ネットワークアドレス生成手段 1 d および属性情報生成手段 1 e に対して供給する。

ルーティング情報の供給を受けたネットワークアドレス生成手段 1 d は、ルーティング情報取得手段 1 b から供給されたルーティング情報から、隣接するネットワークエレメントのネットワークアドレスを抽出し、
10 自己の属するエリアを特定した後、複数個の数字の組み合わせからなるネットワークアドレスを生成して判定手段 1 g に供給する。

属性情報生成手段 1 e は、例えば、複数個のアルファベットまたは数字の組み合わせからなる ID をランダムに生成して判定手段 1 g に供給する。

15 判定手段 1 g は、ルーティングテーブル取得手段 1 f に対して隣接するネットワークエレメントからルーティングテーブルを取得するように指示するとともに、属性情報取得手段 1 i に対して他のネットワークエレメントの属性情報を取得するように指示する。

ルーティングテーブル取得手段 1 f は、隣接するネットワークエレメント（例えば、ネットワークエレメント 2）に記憶されているルーティングテーブルを取得し、判定手段 1 g に供給する。なお、ルーティングテーブルは、個々のネットワークエレメントがルーティング情報から生成した、送信しようとするデータの経路を決定するための情報であり、各ネットワークエレメントのネットワークアドレス、および、ネットワーク全体の接続関係を示す情報等によって構成されている。
25

判定手段 1 g は、ルーティングテーブル取得手段 1 f から供給された

ルーティングテーブルを参照し、重複するネットワークアドレスが既に存在する場合にはその旨をネットワークアドレス生成手段 1 d に対して通知する。

その結果、ネットワークアドレス生成手段 1 d は、ネットワークアド 5 レスを再度生成して判定手段 1 g に供給し、重複していないかのチェックを受ける。なお、このような処理は、重複しないネットワークアドレスが生成されるまで繰り返される。

一方、属性情報生成手段 1 e から供給された属性情報に対しては、判定手段 1 g は、属性情報取得手段 1 i によって取得された他のネットワ 10 クエレメントの属性情報と比較し、重複している場合には、属性情報生成手段 1 e に対してその旨を通知し、新たな属性情報を再度生成させる。そして、重複していない属性情報が得られるまで同様の処理が繰り返される。

このようにして生成されたネットワークアドレスと属性情報とは、自己に係る情報として、ネットワークエレメント 1 が有する図示せぬ記憶 15 装置のルーティングテーブルに記憶されるとともに、送信手段 1 h によつて監視装置 4 に対して送信される。

監視装置 4 は、受信手段 4 b によってこれらの情報を受信し、登録手段 4 c に供給する。

20 登録手段 4 c は、ネットワークを構成するネットワークエレメントの接続関係、ならびに、個々のネットワークエレメントの有するネットワークアドレスおよび属性情報等を記憶しているネットワーク情報記憶手段 4 d に対して新たに接続されたネットワークエレメントのネットワークアドレスと属性情報を登録する。

25 登録手段 4 c による登録が終了すると、通知手段 4 e が、例えば、図示せぬブザー等を鳴動させるとともに、図示せぬ表示装置等に対して新

たなネットワークエレメントが接続された旨を示すメッセージを表示させる。

以上に示すように、本発明に係るネットワークシステムによれば、ネットワークエレメントが新たに追加された場合には、ネットワークアドレスと属性情報とを自動的に生成するとともに、隣接するネットワークエレメントのルーティングテーブルを参照して重複の有無を判定するようとしたので、これらの情報の管理を容易にすることが可能となる。

また、新たに生成されたネットワークアドレスと属性情報とを監視装置4に対して自動的に登録するとともに、管理者に対して通知するようとしたので、管理者は新たなネットワークエレメントが接続されて起動されたことを迅速に知ることが可能となる。

次に、本発明の実施の形態の構成例について説明する。

図2は、本発明のネットワークシステムの全体構成の一例を示す図である。この図において、ネットワークエレメント10～15は、図示せぬネットワーク（例えば、光ケーブル等によって構成されたネットワーク）の監視や設定を行うとともに、他のネットワークエレメントや監視装置20との間で通信を行う。

監視装置20は、ネットワークエレメント10～15を管理する。

図3は、図2に示すネットワークエレメント10の構成例を示す図である。なお、ネットワークエレメント10～15は、同様の構成であるので、以下では、ネットワークエレメント10を例に挙げて説明を行う。

図3に示すように、ネットワークエレメント10は、CPU(Central Processing Unit)10a、ROM(Read Only Memory)10b、RAM(Random Access Memory)10c、HDD(Hard Disk Drive)10d、GB(Graphics Board)10e、バス10f、および、インターフェース10gによって構成され、CRT(Cathode Ray Tube)モニタ

等によって構成される表示装置 11 が接続されている。

ここで、CPU10aは、HDD10d等に格納されているプログラムに応じて種々の処理を行うとともに、装置の各部を制御する。

ROM10bは、基本的なプログラムやデータ等を格納しており、装置の起動時等にCPU10aに対してこれらを供給する。
5

RAM10cは、CPU10aの実行対象となるプログラムやデータ等を一時的に格納する。

HDD10dは、図4に示すように、アプリケーションプログラム15a、ルーティングテーブル15b、初期立上フラグ15c、その他10 15dを格納している。

ここで、アプリケーションプログラム15aは、ネットワークエレメント10において実行される各種プログラムである。

ルーティングテーブル15bは、ネットワークを構成する各ネットワークエレメントのネットワークアドレスと属性情報、および、ネットワークエレメントの接続関係を示す情報である。
15

初期立上フラグ15cは、装置が初めて起動された場合は“ON”的状態であり、その後は“OFF”的状態とされるフラグである。

その他15dは、例えば、装置の設定に関する情報等によって構成されている。

20 図3に戻って、GB10eは、CPU10aから供給された描画命令に応じて描画処理を行い、得られた画像を映像信号に変換して表示装置11に供給して表示させる。なお、GB10eを具備するかわりに、RS-232Cポート等によって外部のパーソナルコンピュータに接続し、このポートを介してデータを出力することにより、パーソナルコンピュータに情報を表示させるようにしてもよい。
25

バス10fは、CPU10a、ROM10b、RAM10c、HDD

10d、GB10e、インターフェース10gを相互に接続し、これらの間でデータの授受を可能にする。

インターフェース20gは、他のネットワークエレメントまたは監視装置20との間でデータを授受する場合に、データの表現形式を適宜変換する。
5

表示装置11は、ネットワークエレメント10からの各種情報を表示出力する。

なお、HDD10dおよびGB10eを除外し、外部にパーソナルコンピュータ等を接続して、このパーソナルコンピュータをインターフェースとして操作を行うようにしてもよい。
10

図5は、監視装置20の詳細な構成例を示す図である。

監視装置20もネットワークエレメント10と基本的には同様の構成であり、CPU20a、ROM20b、RAM20c、HDD20d、
15 GB20e、バス20f、および、インターフェース20gによって構成されている。また、外部には、表示装置21とスピーカ22とが接続されている。

ここで、CPU20aは、HDD20d等に格納されているプログラムに応じて種々の処理を行うとともに、装置の各部を制御する。

ROM20bは、基本的なプログラムやデータ等を格納しており、装置の起動時等にCPU20aに対して供給する。
20

RAM20cは、CPU20aの実行対象となるプログラムやデータ等を一時的に格納する。

HDD20dは、図6に示すように、アプリケーションプログラム25a、管理テーブル25b、その他25cを格納している。

25 ここで、アプリケーションプログラム25aは、監視装置20において実行される各種プログラムである。

管理テーブル 25 b は、ネットワークを構成する各ネットワークエレメントのネットワークアドレスと属性情報、および、ネットワークエレメントの接続関係を示す情報等によって構成されている。

その他 25 c は、例えば、装置の設定に関する情報等によって構成され 5 れている。

図 5 に戻って、GB 20 e は、CPU 20 a から供給された描画命令に応じて描画処理を行い、得られた画像を映像信号に変換して表示装置 21 に供給して表示させる。

バス 20 f は、CPU 20 a、ROM 20 b、RAM 20 c、HDD 10 20 d、GB 20 e、インターフェース 20 g を相互に接続し、これらの間でデータの授受を可能にする。

インターフェース 20 g は、ネットワークエレメントとの間でデータを授受する場合に、データの表現形式を適宜変換する。

表示装置 21 は、監視装置 20 からの各種情報を表示出力する。

スピーカ 22 は、新たなネットワークエレメントが接続された場合には、ブザーを鳴動して管理者に対して通知を行う。 15

次に、以上の実施の形態の動作について説明する。

図 7 は、図 2 に示すネットワークエレメント 10～15 において実行される処理の一例を示すフローチャートである。以下では、ネットワークエレメント 10 が新たに接続された場合を想定して説明を行う。 20

いま、ネットワークエレメント 10 が新たに接続されて装置が起動されたとすると以下の処理が実行される。

[S 1] CPU 10 a は、HDD 10 d に格納されている初期立上フラグ 15 c を取得する。

[S 2] CPU 10 a は、ステップ S 1 において取得した初期立上フラグ 15 c が “ON” の状態であるか否かを判定し、“ON” の状態である 25

場合にはステップS 3に進み、それ以外の場合には処理を終了する。

いまの例では、ネットワークエレメント10は初めて起動されるので、初期立上フラグ15cは“ON”の状態であり、ステップS 3に進む。

[S 3] CPU10aは、初期立上フラグ15cを“OFF”の状態に
5 変更する。

[S 4] CPU10aは、インターフェース10gを介して、ネットワーク上を循環しているルーティング情報を取得する。

[S 5] CPU10aは、ルーティング情報から隣接するネットワーク
エレメントのアドレス情報を取得し、その情報を参照して、自己のネッ
10 ツワークアドレスを生成する。

例えば、図2に示す各ネットワークエレメントが図8に示すようなネ
ットワークアドレスとIDとを有するとすると、新たに接続されたネッ
トワークエレメント10は、隣接するネットワークエレメント11, 1
2のネットワークアドレスを参照して自己が所属するエリアを決定し、
15 この決定されたエリアを参照して仮のネットワークアドレスである“1
64. 150. 12. 2”を生成する。

[S 6] CPU10aは、隣接するネットワークエレメントからルーテ
ィングテーブルを取得する。

例えば、CPU10aは、ネットワークエレメント11のHDDに記
20 憶されているルーティングテーブル（図4参照）を取得する。

[S 7] CPU10aは、ステップS 6において取得したルーティング
テーブルを参照し、仮のネットワークアドレスが重複していないか否か
を判定し、重複していない場合にはステップS 8に進み、それ以外の場
合にはステップS 5に戻って前述の場合と同様の処理を繰り返す。

25 図8に示す例では、仮のアドレス“164. 150. 12. 2”は、
ネットワークエレメント11～15の何れとも一致していないので、ス

ステップ S 8 に進むことになる。

[S 8] CPU10a は、新たに生成されたネットワークアドレスを自己のネットワークアドレスとしてルーティングテーブルに登録する。

即ち、CPU10a は、新たに生成されたネットワークアドレス “1
5 6 4. 1 5 0. 1 2. 2” を、HDD10d のルーティングテーブル 1
5 b に格納する。

[S 9] CPU10a は、ルーティング情報から隣接するネットワーク
エレメントの ID を取得し、その情報を参照して、自己の ID を生成す
る。

10 例えれば、図 2 に示す各ネットワークエレメントが図 8 に示すようなネ
ットワークアドレスと ID とを有する場合、新たに接続されたネットワ
ークエレメント 10 は、隣接するネットワークエレメント 11, 12 の
ID を参照して、仮の ID として例えば “a b c d e f g h i 0 2” を
生成する。

15 なお、ルーティング情報に ID が含まれていない場合には、アトラン
ダムに ID を生成するようにしてもよい。

[S 10] CPU10a は、ネットワークから他の全てのネットワーク
エレメントの ID を取得する。

即ち、CPU10a は、インターフェース 10g を介して、ネットワ
20 ークの全てのネットワークエレメントに対して ID の読み出し要求を送
信し、その結果として送信されてきた ID を取得する。

[S 11] CPU10a は、ステップ S 10 において取得した ID を、
ステップ S 9 において生成した仮の ID と比較し、重複していない場合
にはステップ S 12 に進み、それ以外の場合にはステップ S 9 に戻って
25 前述の場合と同様の処理を繰り返す。

[S 12] CPU10a は、新たに生成された ID を、自己の ID とし

てルーティングテーブルに登録する。

即ち、CPU10aは、新たに生成されたID“a b c d e f g h i 0 2”を、HDD10dのルーティングテーブル15bに格納する。

[S13] CPU10aは、新たに生成されたネットワークアドレスと
5 IDとを、インターフェース10gを介して監視装置20に対して供給
する。

以上の処理により、新たに接続されたネットワークエレメントが初めて起動された場合には、ネットワークアドレスとIDとが自動的に生成され、監視装置20に対して送信されることになる。

10 なお、ネットワークエレメントが2回目に起動された場合には、初期立上フラグが“OFF”的状態となっているので、アドレスとIDの生成処理は実行されない。

次に、図9を参照して、図2に示す監視装置20において実行される処理の一例について説明する。このフローチャートは、ネットワークエ
15 レメントから新たなネットワークアドレスとIDとが送信されてきた場合の処理である。このフローチャートが開始されると、以下の処理が実行される。

[S20] CPU20aは、新たなアドレス等（ネットワークアドレスとID）をインターフェース20gを介して受信する。

20 [S21] CPU20aは、HDD20dの管理テーブル（図6参照）に対して、新たなネットワークアドレスとIDとを登録する。

[S22] CPU20aは、表示装置21に対して、新たなネットワークエレメントが接続された旨を示すメッセージを表示させる。

25 図10は、このとき、表示装置21に表示される画面の表示例である。
この表示例では、「新規接続」と題されたウィンドウ40が表示されており、新たなネットワークエレメントが接続されたことと、そのアドレス

と I D がそれぞれ “164. 150. 12. 2” と “a b c d e f g h i 0 2” であることが示されている。

[S 23] C P U 2 0 a は、スピーカ 2 2 に対して音声信号を供給して
ブザーを鳴動させ、管理者に対して新たなネットワークエレメントが接
続されたことを通知する。
5

このような処理によれば、ネットワークエレメントが新たに接続され
て起動された場合には、そのネットワークアドレスと I D とを受信して
登録するとともに、管理者に対して通知することが可能となる。

以上の実施の形態によれば、ネットワークに新たなネットワークエレ
10 メントが接続されて起動された場合には、このネットワークエレメント
が自己のネットワークアドレスと I D を自動的に生成し、監視装置に通
知することができる。管理者が遠隔地まで赴いて設定を行う必
要がなくなる。その結果、ネットワークを立ち上げるためのコストや立
ち上げに必要な時間を短縮することが可能となる。

15 また、ネットワークアドレスや I D を一元的に管理する必要がなくなる
ので、管理者の負担を軽減することが可能となる。

更に、ネットワークアドレスや I D が自動的に監視装置に対して通知
されるので、ネットワークエレメントの立ち上げ時から、ネットワーク
を集中的に管理することが可能となる。

20 なお、以上の実施の形態においては、ネットワークエレメントがネッ
トワークアドレスを生成する際は、ネットワーク上を循環しているル
ーティング情報を参照するようにしたが、隣接するネットワークエレメン
トや全てのネットワークエレメントに対してアドレスを直接問い合わせ
るようにしてもよい。

25 また、ネットワークアドレスや I D としては、“XXXX01”、“XX
XX02” といったような規則的な文字列や数字列を使用するようにし

たが、例えば、全くランダムに生成するようにしてもよい。

以上説明したように本発明では、複数のネットワークエレメントと、ネットワークを監視する監視装置とを有するネットワークシステムにおいて、ネットワークエレメントは、自己がネットワークに新たに接続されたことを検出する検出手段と、検出手段によって自己が新たにネットワークに接続されたことが検出された場合には、自己のネットワークアドレスを生成するネットワークアドレス生成手段と、ネットワークアドレス生成手段によって生成されたネットワークアドレスがネットワーク上において重複しているか否かを判定する判定手段と、を有するようにしたので、ネットワークに新規に接続されたネットワークエレメントに対してネットワークアドレスを自動的に付与することが可能となる。

上記については単に本発明の原理を示すものである。さらに、多数の変形、変更が当業者にとって可能であり、本発明は上記に示し、説明した正確な構成および応用例に限定されるものではなく、対応するすべての変形例および均等物は、添付の請求項およびその均等物による本発明の範囲とみなされる。

請求の範囲

1. 複数のネットワークエレメントと、ネットワークを監視する監視装置とを有するネットワークシステムにおいて、
 - 5 前記ネットワークエレメントは、自己が前記ネットワークに新たに接続されたことを検出する検出手段と、前記検出手段によって自己が新たにネットワークに接続されたことが検出された場合には、自己のネットワークアドレスを生成するネットワークアドレス生成手段と、
 - 10 前記ネットワークアドレス生成手段によって生成されたネットワークアドレスがネットワーク上において重複しているか否かを判定する判定手段と、前記ネットワークアドレス生成手段によって生成されたネットワークアドレスがネットワーク上において重複しているか否かを判定する判定手段と、
 - 15 を有することを特徴とするネットワークシステム。
 2. 前記判定手段が、前記ネットワークアドレスが重複すると判定した場合には、前記ネットワークアドレス生成手段は、ネットワークアドレスを再度生成することを特徴とする請求項1記載のネットワークシステム。
 - 20 3. 前記ネットワークからルーティング情報を取得するルーティング情報取得手段を更に有し、前記ネットワークアドレス生成手段は、前記ルーティング情報を参照して、ネットワークアドレスを生成することを特徴とする請求項2記載のネットワークシステム。
 4. 隣接するネットワークエレメントが有するルーティングテーブルを取得するルーティングテーブル取得手段を更に有し、前記判定手段は、前記ルーティングテーブルを参照し、前記ネットワ

ークアドレス生成手段によって生成されたネットワークアドレスが重複しているか否かを判定することを特徴とする請求項2記載のネットワークシステム。

5. 前記検出手段によって自己がネットワークに新たに接続されたことが検出された場合には、自己に関する属性情報を生成する属性情報生成手段を更に有することを特徴とする請求項1記載のネットワークシステム。

6. 他のネットワークエレメントから属性情報を取得する属性情報取得手段を更に有し、

10 前記属性情報生成手段によって生成された属性情報が、前記属性情報取得手段によって取得された他の属性情報と重複している場合には、前記属性情報生成手段は、前記属性情報を再度生成することを特徴とする請求項5記載のネットワークシステム。

7. 前記ネットワークエレメントは、

15 前記ネットワークアドレス生成手段によって生成されたネットワークアドレスを前記監視装置に対して送信する送信手段を更に有し、
前記監視装置は、

前記ネットワークに関する情報を記憶するネットワーク情報記憶手段と、

20 前記ネットワークエレメントから送信された新たなネットワークアドレスを受信する受信手段と、

前記受信手段によって受信されたネットワークアドレスを、前記ネットワーク情報記憶手段に登録する登録手段と、を更に有する、
ことを特徴とする請求項1記載のネットワークシステム。

25 8. 前記監視装置は、前記登録手段によって新たなネットワークアドレスの登録があった場合には、その旨を通知する通知手段を更に有するこ

とを特徴とする請求項 7 記載のネットワークシステム。

9. 前記ネットワークエレメントは、前記検出手段によって自己が新たにネットワークに接続されたことが検出された場合には、自己に関する属性情報を生成する属性情報生成手段を更に有し、

5 前記送信手段は、前記ネットワークアドレスとともに前記属性情報を前記監視装置に対して送信し、

前記登録手段は、前記ネットワークアドレスとともに前記属性情報も前記記憶手段に対して登録する、

ことを特徴とする請求項 7 記載のネットワークシステム。

1/10

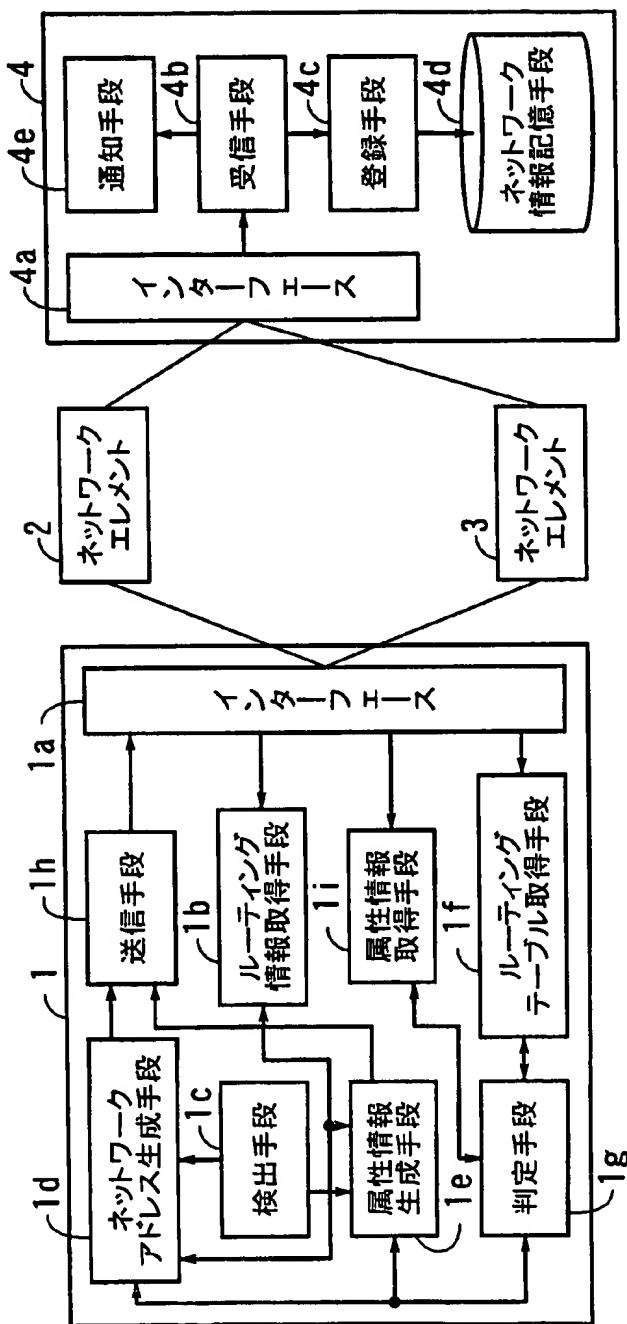


図 1

2/10

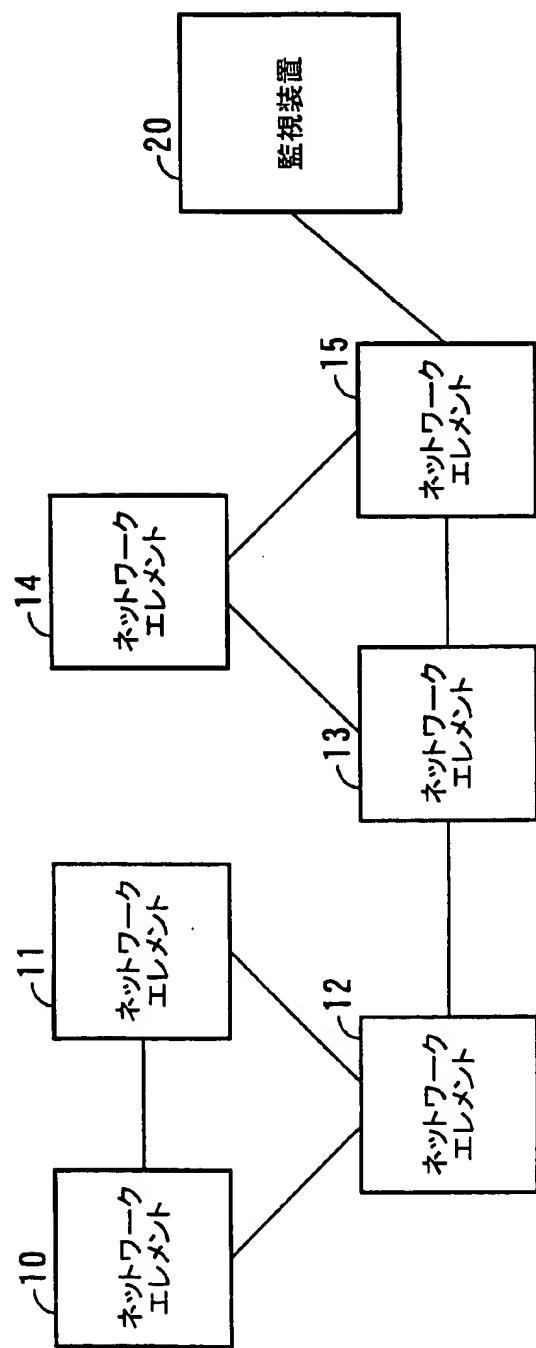


図 2

3/10

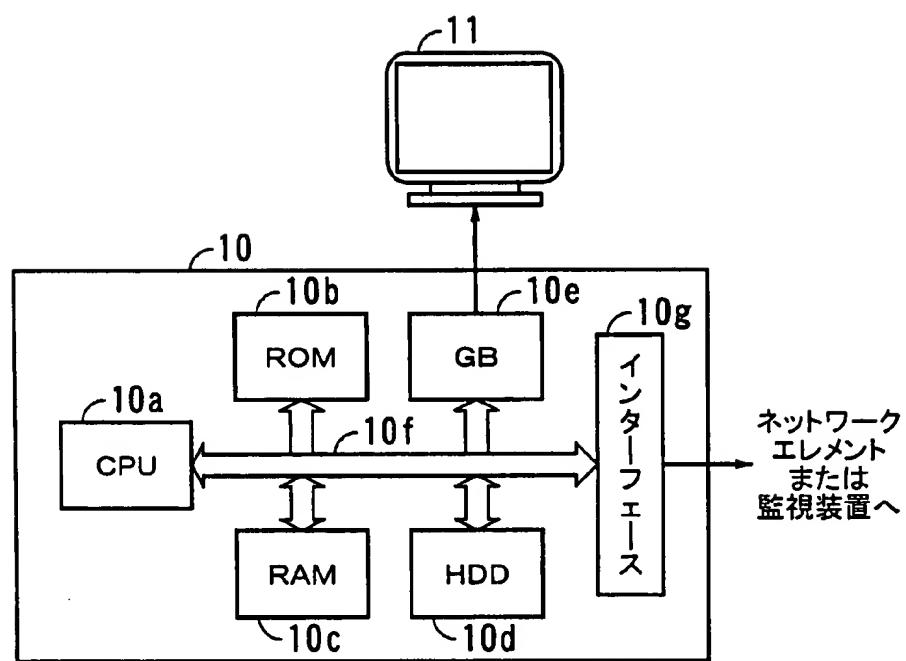


図 3

4/10

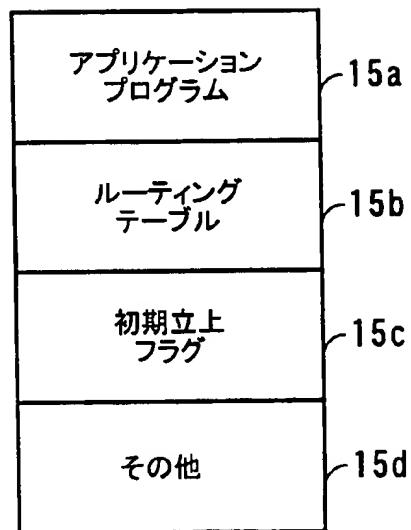


図 4

5/10

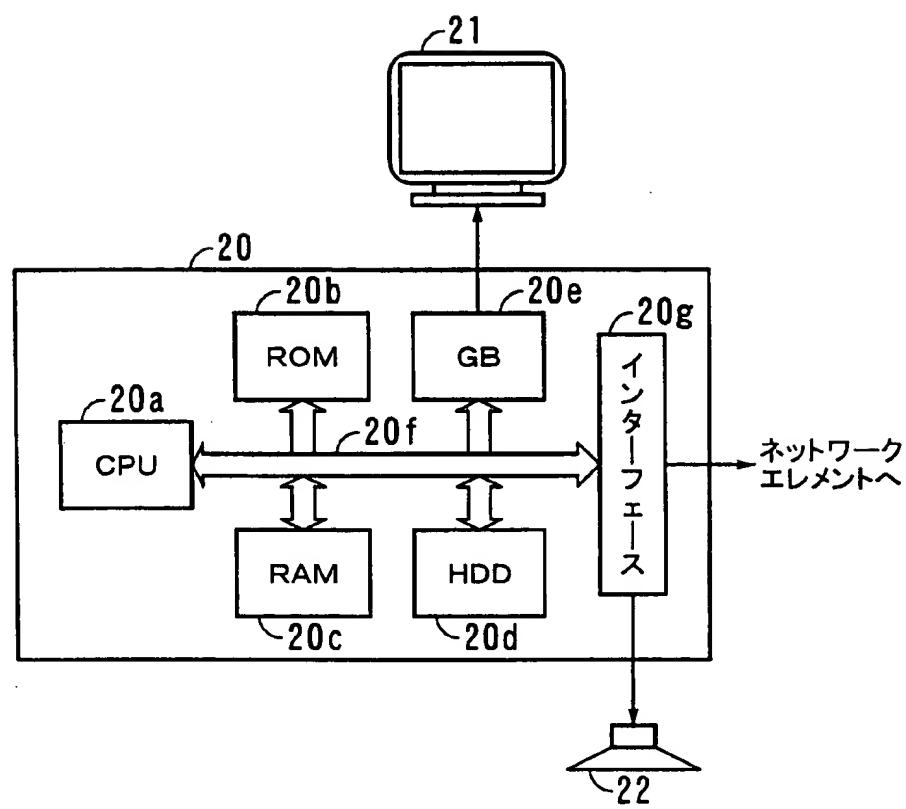


図 5

6/10

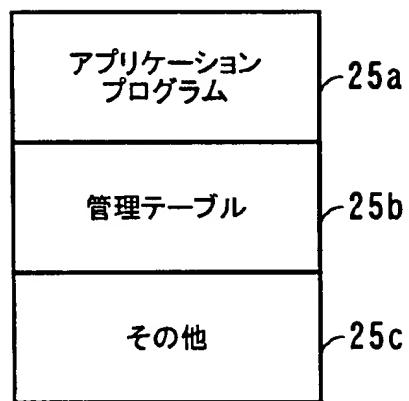


図 6

7 / 10

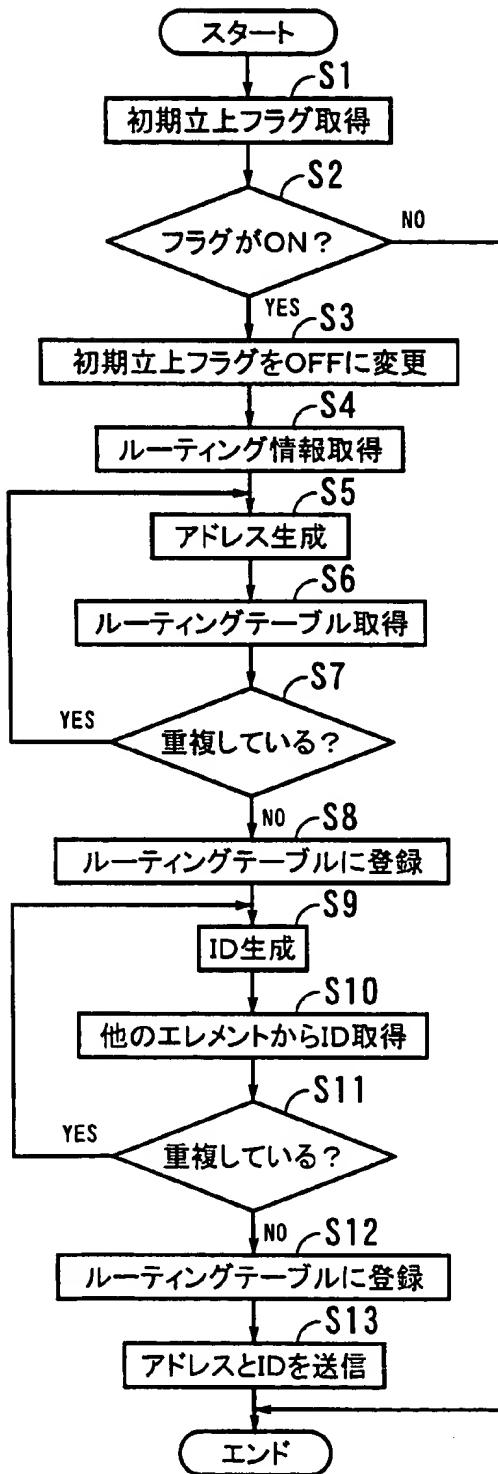
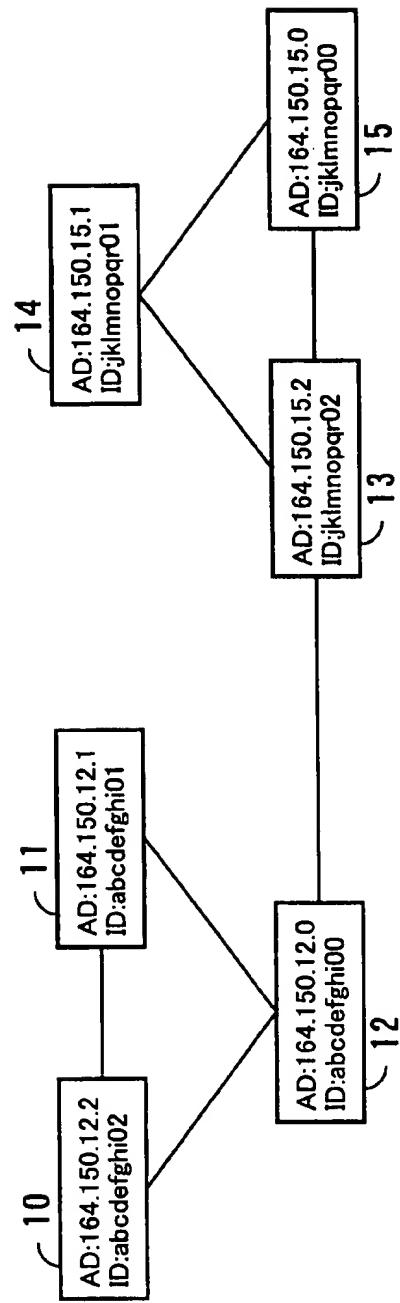


図 7

8/10



☒ 8

9/10

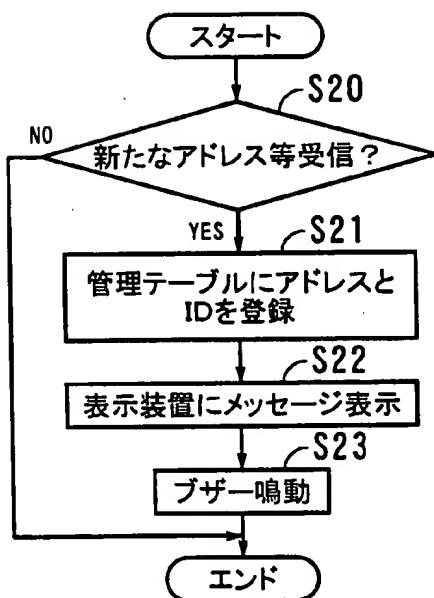


図 9

10/10

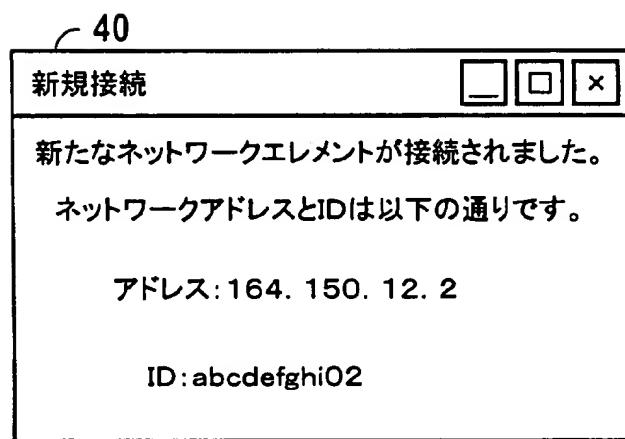


図 10

INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No.

PCT/JP99/04002

A. CLASSIFICATION OF SUBJECT MATTER
Int.Cl⁶ H04L12/56

According to International Patent Classification (IPC) or to both national classification and IPC

B. FIELDS SEARCHED

Minimum documentation searched (classification system followed by classification symbols)

Int.Cl⁶ H04L12/56, 12/28, 12/40-12/46

Documentation searched other than minimum documentation to the extent that such documents are included in the fields searched
 Denshi Jouhou Tsuushin Gakkai Gijutsu Kenkyuu Houkoku SSE, IN, CS
 Denshi Jouhou Tsuushin Gakkai Sougou Taikai
 Denshi Jouhou Tsuushin Gakkai Tsuushin Society Taikai

Electronic data base consulted during the international search (name of data base and, where practicable, search terms used)
 JOIS: "address" "automatic" "setup" "assign" "assignment" "allocate"
 "allocation" "decision"

C. DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT

Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
X	US, 5781552, A (NEC Corp.), 14. 07. 98	1-4
Y	& JP, 07264211, A & JP, 2679613, B2	5, 6
A		7-9
X	JP, 04082439, A (NEC Corp.), 16 March, 1992 (16. 03. 92) (Family: none)	1-3
Y		5, 6
A		4, 7-9
X	JP, 06152624, A (Fuji Facom Corp.), 31 May, 1994 (31. 05. 94) (Family: none)	1-3
Y		5, 6
A		4, 7-9
Y	JP, 06085821, A (Sony Corp.), 25 March, 1994 (25. 03. 94) (Family: none)	5, 6
A	Toshiba Gijutsu Koukaishuu, Vol. 16 No. 48 (24. 08. 98), pp.71-77, Munetaka Kido, IP tsuushin souchi ji IP address jidou wariate houhou"	1-9

Further documents are listed in the continuation of Box C. See patent family annex.

*A	Special categories of cited documents: document defining the general state of the art which is not considered to be of particular relevance	"T"	later document published after the international filing date or priority date and not in conflict with the application but cited to understand the principle or theory underlying the invention
"E"	earlier document but published on or after the international filing date	"X"	document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered novel or cannot be considered to involve an inventive step when the document is taken alone
"L"	document which may throw doubts on priority claim(s) or which is cited to establish the publication date of another citation or other special reason (as specified)	"Y"	document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered to involve an inventive step when the document is combined with one or more other such documents, such combination being obvious to a person skilled in the art
"O"	document referring to an oral disclosure, use, exhibition or other means	"&"	document member of the same patent family
"P"	document published prior to the international filing date but later than the priority date claimed		

Date of the actual completion of the international search
14 October, 1999 (14. 10. 99)

Date of mailing of the international search report
26 October, 1999 (26. 10. 99)

Name and mailing address of the ISA/
Japanese Patent Office

Authorized officer

Facsimile No.

Telephone No.

INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No.

PCT/JP99/04002

C (Continuation). DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT

Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
A	JP, 02031538, A (Matsushita Electric Industrial Co., Ltd.), 1 February, 1990 (01. 02. 90) (Family: none)	5, 6

国際調査報告

国際出願番号 PCT/JP99/04002

A. 発明の属する分野の分類(国際特許分類(IPC))

Int Cl⁶ H04L 12/56

B. 調査を行った分野

調査を行った最小限資料(国際特許分類(IPC))

Int Cl⁶ H04L 12/56, 12/28, 12/40 - 12/46

最小限資料以外の資料で調査を行った分野に含まれるもの

電子情報通信学会技術研究報告 SSE, IN, CS

電子情報通信学会総合大会

電子情報通信学会通信ソサイエティ大会

国際調査で使用した電子データベース(データベースの名称、調査に使用した用語)

JOIS : "address" "automatic" "setup" "assign" "assignment" "allocate" "allocation" "decision"

C. 関連すると認められる文献

引用文献の カテゴリー*	引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	関連する 請求の範囲の番号
X	US, 5781552, A(NEC Corp.), 14. 07. 98, & JP, 07264211, A & JP, 2679613, B2	1-4
Y		5, 6
A		7-9
X	JP, 04082439, A(日本電気株式会社), 16. 3月 1992(16. 03. 92) (ファミリ無し)	1-3
Y		5, 6
A		4, 7-9

 C欄の続きにも文献が列挙されている。 パテントファミリーに関する別紙を参照。

* 引用文献のカテゴリー

「A」特に関連のある文献ではなく、一般的技術水準を示すもの

「E」国際出願日前の出願または特許であるが、国際出願日以後に公表されたもの

「I」優先権主張に疑義を提起する文献又は他の文献の発行日若しくは他の特別な理由を確立するために引用する文献(理由を付す)

「O」口頭による開示、使用、展示等に言及する文献

「P」国際出願日前で、かつ優先権の主張の基礎となる出願

の日の後に公表された文献

「T」国際出願日又は優先日後に公表された文献であって出願と矛盾するものではなく、発明の原理又は理論の理解のために引用するもの

「X」特に関連のある文献であって、当該文献のみで発明の新規性又は進歩性がないと考えられるもの

「Y」特に関連のある文献であって、当該文献と他の1以上の文献との、当業者にとって自明である組合せによって進歩性がないと考えられるもの

「&」同一パテントファミリー文献

国際調査を完了した日

14. 10. 99

国際調査報告の発送日

26.10.99

国際調査機関の名称及びあて先

日本国特許庁 (ISA/JP)

郵便番号 100-8915

東京都千代田区霞が関三丁目4番3号

特許庁審査官(権限のある職員)

吉田 隆之

5X 9077

電話番号 03-3581-1101 内線 3594

C (続き) 関連すると認められる文献		関連する 請求の範囲の番号
引用文献の カテゴリー*	引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	
X	JP, 06152624, A(富士ファコム制御株式会社), 31. 5月 1994 (31. 05. 94) (ファミリ無し)	1-3
Y A		5, 6 4, 7-9
Y	JP, 06085821, A(ソニー株式会社) 25. 3月 1994 (25. 03. 94) (ファミリ無し)	5, 6
A	東芝技術公開集, Vol. 16 No. 48 (24. 08. 98), pp. 71-77, 城戸宗高, "IP通信装置自IPアドレス自動割当方法"	1-9
A	JP, 02031538, A(松下電器産業株式会社) 01. 2月 1990 (01. 02. 90) (ファミリ無し)	5, 6

**This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning
Operations and is not part of the Official Record**

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

- BLACK BORDERS**
- IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES**
- FADED TEXT OR DRAWING**
- BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING**
- SKEWED/SLANTED IMAGES**
- COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS**
- GRAY SCALE DOCUMENTS**
- LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT**
- REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY**
- OTHER:** _____

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.